

本時のねらい

- ・文の成分など、文の組み立てに必要な知識を獲得する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・学習動画を用いることで、何度も繰り返し動画を視聴し、理解するまで集中して学習に取り組む。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習支援ソフト（ロイロノート） ・電子黒板

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP 4, K-STEP 4

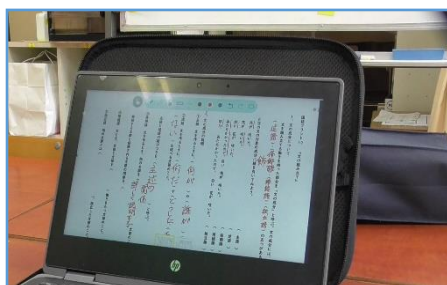
該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



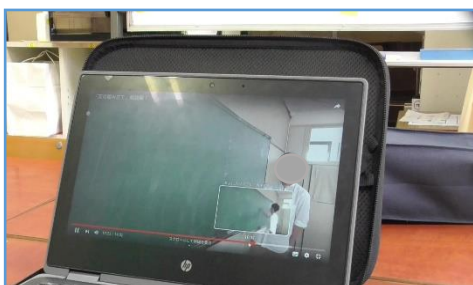
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	○授業動画の冒頭にある「本動画の趣旨について」を視聴し、めあてを確認する。 「文の組み立て、特に文の成分について学ぶ。」	・動画は、授業者が本単元を解説した動画を YouTube に限定公開でアップロードしており、その動画を視聴する。 ・視覚的な情報を用いて見通しをもつことで、生徒が安心して授業を受けることができる。
展開 (35 分)	○教員があらかじめ撮影した、「文の組み立て」についての動画本編を視聴し、プリントの記入を進める。【写真 1】 【写真 2】	・見逃したところや、もう一度見直したい情報があった場合は、そこまで戻って再度再生するよう声をかける。 ・動画と学習プリントを一致させづらい生徒には、動画を一時停止させるなど、混乱を生じさせないように配慮する。 ・プリントの問題を解かせる際は、動画を一時停止させるなどし、自分で考える時間を持つよう助言する。
まとめ (10 分)	○学習支援ソフトを使い、振り返りの問題（クイズ）に挑戦させる。【写真 3】	

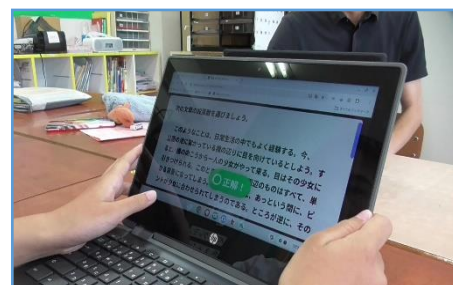
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】動画を視聴している様子



【写真 2】必要なところまで時間を戻し、再度同じ場面を視聴する様子



【写真 3】学習支援ソフトを使い、問題に取り組む様子

児童生徒の反応や変容

- ・説明を一度で理解することが難しい生徒もいるが、動画なので何度も同じところを再生するなどして、普段以上に集中して授業に取り組んでいた。また、生徒が分からないところを後日動画で視聴したと話しており、一定の成果を感じることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・文法など、知識を覚える学習の際は、何度も繰り返し視聴できるので、学習後の復習用として効果的だと考えて動画を用意した。結果的に生徒は何度も繰り返し動画を視聴し、理解するまで集中して学習に取り組むことができた。